



文責 本宮小学校長 佐久間仁

## 五〇歳おめでとう

九月八日に創立一五〇周年記念式(集会)を行いました。式では、本宮小の一五〇年の歴史について学んだり、卒業生の思い出を聞いたりしました。また児童を代表して六年生が未来に向けての思いを発表しました。最後に、伝統ある校歌を声高らかに歌いました。

### ○本宮小の歴史(おもなもの)

#### 〈明治時代〉

- ・明治六年九月九日 本宮小学校創立(南町裡五三)
- ・明治三十四年七月七日 二階建て校舎新築(現在地)

#### 〈大正時代〉

- ・大正三年五月二十一日 児童の帽章として徽章を制定
- ・大正五年二月二十一日 本宮小学校校歌制定(作詞 黒沢教一 作曲 中田 章)

#### 〈昭和時代〉

- ・昭和十六年四月一日 本宮町民学校と改称(待避訓練、防火訓練、勤労奉仕など行う)
- ・昭和二十二年四月一日 本宮町立本宮小学校と改称
- ・翌年、給食(脱脂粉乳)開始
- ・昭和四十年十二月二十六日 劇映画「こころの山脈」完成
- ・母子像が贈られる(東校舎玄関)
- ・昭和四十五年三月三十一日 鉄筋三階建て(普通教室、特別教室、プラネタリウム館)新築
- ・昭和四十七年二月二十六日 屋内運動場(体育館)新築
- ・昭和四十八年九月九日 創立一〇〇周年記念式典挙行

#### 〈平成時代〉

- ・平成十一年三月十八日 本宮小学校・本宮まゆみ小学校分離分割式
- ・平成二十年二月十九日 東校舎大規模改修工事完了
- ・平成二十一年十月二十九日 西校舎、南校舎新築
- ・平成二十三年三月三十日 第二校庭完成

#### 〈令和時代〉

- ・令和元年十月十三日 台風十九号接近に伴う大雨で市内浸水(本宮小は避難場所になる)
- ・令和四年十二月八日 第三校庭工作物(水道等)設置



### ○卒業生の話(司会:宗像CS会長)

#### 〈小学生時代の思い出〉

- ・「学校から帰ると、夕方遅くまでよく遊んだ。鬼ごっこや缶蹴り、ミニスキー(竹スキー)をした。」
- ・「大きい子から小さい子まで異学年で仲良く遊んだ。小さい子用の特別ルールがあった。」



#### 〈今と昔のちがひ〉

- ・「子どもの数が多かった。全校で千人以上。一クラス四十五人近くいて、教室はすし詰め状態だった。」
- ・「給食はおもにパン(コッペパン)で一週間に一度麺が出た。」
- ・「栄養不足を補うため、肝油ドロップなどを食べていた。」

#### 〈後輩に伝えたい思い〉

- ・「親孝行ができる人になってほしい(親が喜んでくれるようなことがたくさんできるといい)。」
- ・「タブレットやスマホなど、便利な世の中だが、機械に使われないで上手に使いこなしてほしい。」
- ・「いろいろなことに挑戦して自分でできることを増やしてほしい。」

### ○児童代表の言葉(六年生)

「今年本宮小学校は一五〇周年をむかえました。ぼくはそれを知って、そんな昔からこの学校があったことにびっくりしました。それは、戦争の時代にもこの学校があったということになります。爆撃などで、この学校がこわれなくて

よかったと思いました。ぼくは、この歴史ある本宮小学校を大切にしていきたいです。特に校舎を大切にしようと思います。いつも使っている教室や体育館、理科室などを使う時には、今まで以上にきれいに使ったり、掃除の時にも建物がちがっていても、一五〇年見守ってくれた校舎に感謝の気持ちをもちたいと思います。」

「ぼくは本宮小学校の歴史がすごいと思います。なぜなら、本宮小学校は明治時代につくられているからです。校門にある本宮小学校と書かれているひ石は、一五〇年分の児童を見守り、戦争中もそこに建っていたことを思うと、たくさん歴史が重ねられていてすごいと感じました。そして、とても誇らしく思いました。本宮小学校の歴史を知らない人もいると思うので、少しでも本宮小学校のことを知ってもらえるように、ぼくたちも一五〇年の卒業生としてこの歴史を受け継いで、本宮小学校のよさを伝えていきたいです。」

